

題材「お花紙でうちわを作ろう！」 第4校時 第2.3校時

(1) 学習のねらい

夏の暑さを乗り切るための道具について考え、その中からうちわを作ると知った子どもたちが、うちわの材料としてのお花紙に触れることを通して、お花紙のやわらかさや透かしや重ねたりしたときの色合いの変化を味わっていき、友達のアイデアも参考にしながら、自分だけのうちわを作ることができる。

(2) 学習材

お花紙の感触

- 材質としてのお花紙を味わったことがない子どもたちに、この学習材を提示する。
- 本学習材は、うちわ作りに使う材料の中で子どもたちが一番触れる材料である。材質としてのお花紙に触れた子どもたちは、お花紙をちぎったり切ったりして遊び始めるだろう。そして子どもたちは、お花紙のやわらかさや透かしや重ねたりしたときの色合いの変化に気が付くだろう。授業者は、子どもたちがちぎったり切ったりした行動を技法として紹介し、その行動に価値を見いだしていく。そうした技法を使って作ったうちわは、夏の思い出の1つとなることが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 お花紙に触れる。	学習問題 お花紙を触ろう。 ・ちぎるより切った方が、線はまっすぐになるよ。 ○お花紙でいろんなことができそう。 ・重ねると色が変わるかもしれない。	15'	・お花紙の材質にあまり触れたことがないと考えられる子どもたちに対して、この学習材を提示する。 学習材 お花紙の感触
	学習課題 お花紙を組み合わせで自分だけのうちわを作ろう。			
展開	2 作り方を確認する。	・早く作りたい。	10'	・共有したい作品は授業者がiPadで撮影し、全体で共有する。 ・途中休憩を入れる。
	3 うちわ作りを始める。	・何色と何色を組み合わせようかな。 ・他にもお花紙の使い方はないかな。 ○友達の作り方を参考にしよう。 ・涼しい色合いってどんなかな。	50'	・のりを使うときや乾かすときには、他の子の作品とくっついていたり、破れたりしないように声をかける。
終末	4 片づけと振り返りを行う。	・どのくらいで乾くかな。 ○はやく自分のうちわを使いたい。 ・楽しかった。 ・デザイン通りに作るのが難しかった。 ・きれいなうちわができた。	15'	評価 うちわの骨組みとお花紙を使い、色の組み合わせやデザインを工夫したり、友達の作品を参考にしたりしながら自分だけのうちわを作ることができたか、活動の様子や作品からとらえる。